

# 令和2年度 国際調理師専門学校名駅校 学校関係者評価報告書

作成日:令和3年5月31日

学校法人 東洋学園  
国際調理師専門学校名駅校  
学校関係者評価委員会

学校法人東洋学園 国際調理師専門学校名駅校 学校関係者評価委員会は、平成31年度学校自己評価表に基づいて、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から学校関係者評価を書面開催とし、下記のとおり報告いたします

## 1、学校関係者評価委員

鈴木 拓将(株式会社 矢場とん 代表取締役社長)

橋本 尚宜(ホテルプラザ勝川 料理長)

上嶋 優子(パン屋 NIKOオーナー)

## 2、議題

自己評価結果に基づき学校関係者評価を実施

## 自己評価結果に対する学校関係者評価委員からの評価・意見・改善施策等

評価項目	評価・意見	改善施策等
1、教育理念・目標・人材育成	評価:ほぼ適切である。 課題:学園、職員、講師の目標の共有が必要。 意見:挨拶の徹底が必要。	職員及び講師が教務要項を熟読して理解を深めて行く。 学生が挨拶を自然とできるように指導。 学生自らの目標を設定する。
2、学校運営	評価:ほぼ適切である。 課題:情報システム化が進まない。運営方針が定まらない。 意見:経費削減による業務委縮を起こしている。トップの交替。	マニュアル作成や情報共有を強化して行く。
3、教育活動	評価:ほぼ適切である。 課題:教員の研修の機会を与え、授業内容の見直しが必要。 学生のやる気を引き出す授業方法が不可欠。 意見:できるだけ実習時間を増やす。 職員のスキルアップ。	職員に対する教育研修が必要。 授業参観等により保護者からの意見を聞く。 時代遅れの考えを払拭する。
4、学修成果	評価:ほぼ適切である。 課題:就職活動の開始が遅い。 卒業生の把握があまりできていない。 意見:卒業生同士の情報交換はできている。	同窓会や連絡網の整備。 在校生のガイダンス時間を設け、学生の質に合わせた指導の徹底。
5、学生支援	評価:ほぼ適切である。 課題:1年生からのキャリアプランニングが必要。	卒業生対象の調理実習ステップアップ講座の開講。 授業後の実習室の開放。
6、教育環境	評価:適切である。 課題:修繕すべき箇所がある。 意見:最新の機器を導入してほしい。	常に最新の設備で実習ができるよう設備の導入計画を立案。
7、学生の受け入れ募集	評価:ほぼ適切である。 課題:広報活動の正常化及び認知度を高める。 意見:SNSをうまく活用する。 出前授業の回数を増やす。	広報との連携と広報担当者の学校常駐。 教育成果が伝わるように適正な広報活動を行う。 SNSを利用
8、財務	評価:ほぼ適切である。 課題:財務に関して詳細な公開がない	財務に関する知識を職員がもっと深める。
9、法令等の遵守	評価:適切である。 課題:学校情報の内容を精査し情報公開の改善。	情報公開の見直し。
10、社会貢献・地域貢献	評価:適切である。 課題:ボランティア活動にあまり積極的ではない。	ボランティア活動の実施できる環境を整える。 料理教室の開講構築。

11、国際交流	評価:適切である。 課題:留学生の入学実績が増えてきた。 課題:学習内容が理解されているか。	個別面談時間を増やし、理解度を図る。
---------	--	--------------------

## 総評

講師の高齢化問題や設備投資など、取り組むべき問題に一つずつ解決する方向に進めていきたい。  
学生のモチベーションを向上させる方策を、学園と教職員が一丸となり取り組む必要がある。